

「火災予防」「大学全体の防災マニュアル」を新たに追加した。

a) 警戒宣言 「警戒宣言発令時」を掲載しているのは桜美林大、成蹊大、大正大、法政大の4校である。どの大学も掲載内容は「在宅中」「通学中」「在学中」に警戒宣言が発令された時の注意がまとめられている。

b) 発生後 「初期行動」「大地震発生時の行動(学内)」「避難場所」「火災発生時」が、10校以上の大学で掲載されており、「心得」「災害用伝言ダイヤル」「授業の取り扱い」を掲載している大学は過半数を超えない。

「初期行動」については、13校中10校の大学が掲載している。中でも「落下物から身を守る」「出口の確保」「火の元を消す」は過半数以上の大学があげている。

次に「大地震発生時の行動(学内)」については、13校中11校の大学が掲載している。基本的には初期行動後に避難場所に向かうまでの行動である。初期行動にもあった「落下物から身を守る」は10校の大学で扱っている。

「避難場所」については、13校中11校の大学が掲載している。東京都から避難場所に指定されている大学は、桜美林大、実践女子大、成蹊大、東京海洋大、東京家政大の5校であるが、成蹊大と東京海洋大は市や区から避難場所の指定を受けていることを明記している。

火災発生時については、13校中10校が掲載している。しかし「早く知らせる」等いくつか同様の項目があるが、過半数を超える内容はない。

c) 事前 「日常の備え」「火災予防」「救護の心得」は過半数を超えていないが、掲載している大学があった。しかし「備蓄」は東京海洋大のみ掲載しており、冊子媒体にあった「基礎知識」を掲載している大学はなかった。

d) 教職員 北里大、東京外国語大、東京海洋大の3校が掲載し、これらは大学全体の防災マニュアルも作成している。各項目のほとんどは学生の行動と変わらないが、避難中や避難後に学生誘導や消防隊の任務が追記されている。

§ 3 武蔵野大学学生向け防災HPの提案

本学は先に述べたように、防災情報が冊子媒体のみで、HPに防災情報は掲載されていない。昨年度の研究³⁾で明らかになった本学の課題は、掲載内容がごく一般的な火災発生時の行動や地震発生時の行動にとどまり、本学の状況に即した内容にはなっていない。

提案するHPでは、調査した13校に加え、既往の研究で調査した大学の冊子媒体の防災情報も参考に、本学の課題を改善できるように構成した。作成したHPの構成を表2に示す。例えば、「避難場所」には冊子媒体の学内の避難経路に加え、大学周辺の広域避難場所と公共機関・緊急指定病院の連絡先一覧を掲載した。また本学の学生は電車通学が多いことから、大正大の防災情報を参考に帰宅困難になった際に判断の役に立つ「帰宅するか、学校に残るか」や大学に残った際に避難生活に役に立つ「サバイバルのための知恵と工夫」、実践女子大・玉川大

表2 HPの構成

大項目	項目内容		
発生後	初期行動		
	地震発生後の行動(学内)	学内避難図	
	避難場所	大学から避難場所までの地図	
		防災関係機関連絡先一覧(公共機関)	
		防災関係機関連絡先一覧(救急指定病院)	
	帰宅するか、学校に残るか	自宅	
	地震発生後の行動(学外)	屋内	
		乗り物	
		街中	
	地震時の避難の心得		
火災発生時の行動			
災害伝言ダイヤルの使用	災害伝言ダイヤル	災害伝言板サービス	
安否連絡方法			
警戒宣言	警戒宣言発令時の行動		
	授業の取り扱いについて		
	警戒宣言発令時の社会状況		
事前	地震に対する日常の備え	防災対策	非常持ち出し品
	備蓄		
	火災予防	学内、自宅	
		消防設備の使い方	緊急連絡手順
	地震時の救護の心得	気道確保等	骨折固定等
		止血等	怪我人の運び方
		火傷等	熱中症等
サバイバルのための知恵と工夫			
地震の基礎知識			
教職員	地震発生時の行動(勤務時間内)		
	地震発生時の行動(勤務時間外)	学生等の避難誘導	

地震発生時の行動(学内)

①ドアや窓付近の人は、ドアや窓を開けて、出口を確保する。



②机の下等に身を伏せ、落下物等から身を守る。

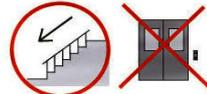


③揺れがある程度おさまったら、教職員や校内放送の指示に従う。



④負傷者がいた場合は、避難の手助けをし、教職員や消防士に素早く連絡すること。

⑤停電の場合は誘導灯に従って避難する。避難は必ず階段を使用する。エレベーターは自動停止するが、動く状態であっても使用しない。



⑥避難するときは、落下物やガラス等、足元にも注意する。



図1 地震発生後の行動(学内)

かとなり、分析結果をもとに、先進事例を参考に、武蔵野大学の課題を改善できるように、新たに学生向けの防災啓発のHPを作成した。

【引用文献】

- 1) 武蔵野大学 [学生課] : 2007 学生手帳, 武蔵野大学 [学生課], pp.13~14, 2007 年.
- 2) 武蔵野大学学生支援部 防災課 : 2007 年(平成19年度) 学生ハンドブック, p.10, 2007 年.
- 3) 西川 佑徳, 伊藤 慎子, 佐藤 麻紀 : 東京近郊に通う大学生の地震防災に対する認識と行動—市民の防災力向上に向けて— その7—; 東京近郊に通う大学生向けの防災啓発マニュアルの提案—市民の防災力向上に向けて— その8—, 日本建築学会大会学術講演梗概集(九州)(都市計画), pp.377~378; pp.379~380, 2007 年8月.
- 4) 旺文社 : パスナビ, <http://passnavievidus.com/>, 2007 年5月14日. 他

*1 水月ホテル鴈外荘
*2 武蔵野大学環境学科 准教授・博士(学術)

*1 Suigetsu Hotel Ohgaisou
*2 Associate Prof., Dept. of Environmental Sciences, Musashino Univ., Ph. D.